

NY マーケットレポート (2020年5月28日)

2020年5月28日(木)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%
日経平均	21,916.31	+497.08	-7.36%
ハンセン指数	23,132.76	-168.60	-17.94%
上海総合	2,846.22	+9.42	-6.68%
韓国総合	2,028.54	-2.66	-7.70%
豪ASX200	5,851.10	+76.09	-12.46%
シンガポールST	2,515.24	-4.24	-21.96%
インドSENSEX	32,200.59	+595.37	-21.95%

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	107.61	107.90	107.57
EUR/JPY	119.20	119.39	118.49
GBP/JPY	132.59	132.88	131.83
AUD/JPY	71.49	71.78	71.02
EUR/USD	1.1076	1.1093	1.0992
BRL/JPY	19.805	20.281	19.763
RUB/JPY	1.512	1.527	1.504

	終値	前日比	年初来%
英FT100	6,218.79	+74.54	-17.55%
仏CAC40	4,771.39	+82.65	-20.18%
独DAX	11,781.13	+123.44	-11.08%
スペインIBX35	7,224.10	+49.60	-24.35%
イタリアFTSE MIB	18,351.16	+440.91	-21.93%
トルコ・イスタンブール100	105,359.76	+406.26	-7.92%
ロシアRTS	1,241.77	+29.57	-19.83%
南ア全株指数	51,389.12	+893.17	-9.98%

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1728.30	+1.50	13.47%
NY 原油	33.71	+0.90	-44.79%
CBOTコーン	327.50	+7.00	-15.54%
CRB指数	129.759	+0.595	-30.16%
ドル指数先物	98.383	-0.679	2.07%
VIX指数	28.59	+0.97	107.47%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	25,400.64	-147.63	-10.99%
S&P500	3,029.73	-6.40	-6.22%
NASDAQ	9,368.99	-43.37	4.42%

南北米主要株価	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	15,262.73	-9.30	-10.55%
メキシコ・ボルサ指数	36,508.14	-381.81	-16.15%
ブラジル・ボベスパ指数	86,949.09	-997.16	-24.81%

Crypto Currency	本日	前日
CME Bitcoin(先物・期近)	9440	9175
Ripple (BSTP)	0.198	0.198
Ethereum (BSTP)	214.61	206.35
Bitcoin Cash	236.56	231.86

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.147%	-0.143%
5年債	-0.124%	-0.122%
10年債	0.002%	0.004%
30年債	0.495%	0.489%

欧州国債利回り	本日	前日
ドイツ10年債	-0.419%	-0.414%
英国 10年債	0.210%	0.193%
フランス 10年債	-0.060%	-0.011%

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.170%	0.180%
3年債	0.215%	0.220%
5年債	0.338%	0.348%
7年債	0.525%	0.523%
10年債	0.690%	0.682%
30年債	1.452%	1.440%

*一部暫定値

5/29 経済指標スケジュール

08:30	【日本】4月失業率・4月有効求人倍率
08:30	【日本】5月消費者物価指数[東京都区部]
08:50	【日本】4月百貨店・スーパー販売額
08:50	【日本】4月小売売上高
08:50	【日本】4月鉱工業生産
13:00	【日本】3月自動車生産
14:00	【日本】5月消費者態度指数
14:00	【日本】4月住宅着工戸数・4月建設工事受注
15:00	【ドイツ】4月輸入物価指数
15:00	【ドイツ】4月小売売上高指数
15:45	【フランス】5月消費者物価指数・4月生産者物価指数
15:45	【フランス】4月消費者支出
15:45	【フランス】1Q GDP
16:00	【トルコ】4月貿易収支
16:00	【トルコ】1Q GDP
18:00	【欧州】5月消費者物価指数
21:00	【南アフリカ】4月財政収支・4月貿易収支
21:30	【カナダ】4月原料価格指数・4月鉱工業製品価格
21:30	【米国】4月個人所得・4月個人支出
21:30	【米国】4月PCEデフレーター
21:30	【米国】4月卸売在庫
21:30	【カナダ】1Q GDP
22:45	【米国】5月シカゴ購買部協会景気指数
23:00	【米国】5月ミシガン大学消費者信頼感指数

5/29 主要会議・講演・その他予定

- ・パウエルFRB議長 ウェブ討論会
- ・トランプ米大統領 対中政策に関する会見

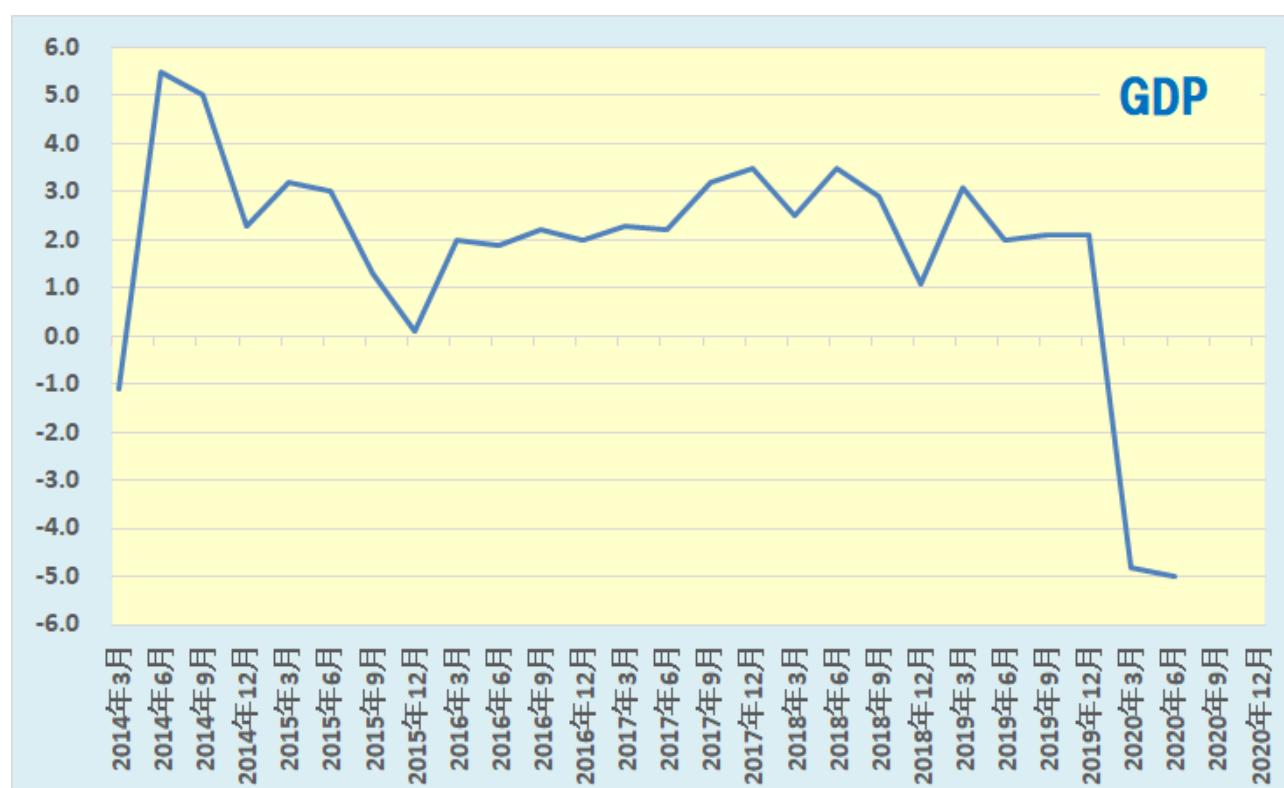
NY 市場レポート（前日 21 時 00 分～午前 5 時 30 分まで）

主要な米経済指標の結果

1Q GDP（前期比年率） -5.0%（予想 -4.8%・前回 -4.8%）

1Q 個人消費（前期比） -6.8%（予想 -7.5%・前回 -7.6%）

2020 年 1-3 月期の米 GDP 改定値は、速報値から 0.2 ポイント下方修正された。GDP の約 7 割を占める個人消費は速報値から 0.8 ポイント、設備投資は 0.7 ポイントそれぞれ上方修正されたが、住宅投資は 2.5 ポイント下方修正された。世界的な景気低迷で輸出が-8.7%（前月 2.1%）、輸入も-15.5%（-8.4%）だった。

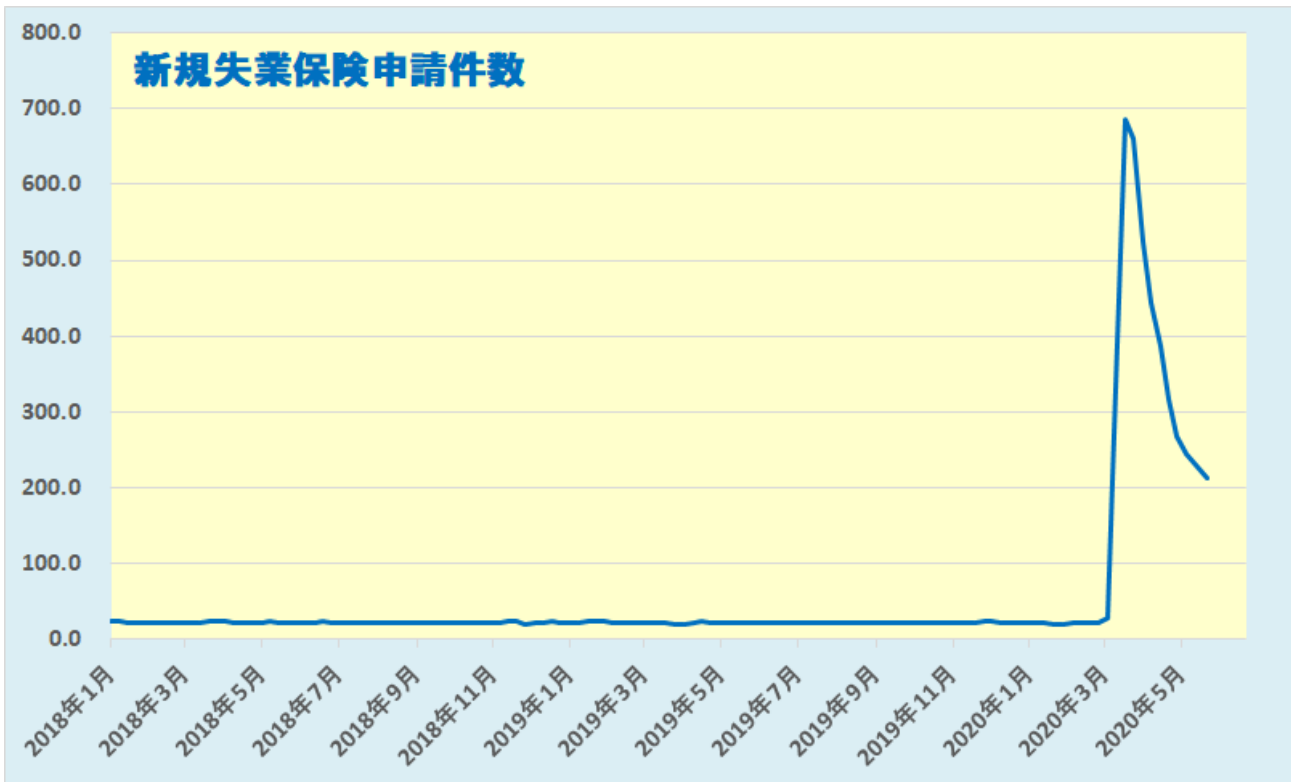


データを基に SBILM が作成

新規失業保険申請件数 212.3 万件（予想 210.0 万件・前回 243.8 万件⇒244.6 万件）

失業保険継続受給者数 2105.2 万人（予想 2575.0 万人・前回 2507.3 万人⇒2491.2 万人）

米新規失業保険申請件数は、前週比-32.3 万件となり、8 週連続の減少となった。しかし、依然として 200 万件を上回る新規申請件数が続いており、回復に時間を要するとの見方が広がった。一方、失業保険継続受給者数は、-386 万件と急増した 3 月下旬以降初めて減少した。



データを基に SBILM が作成



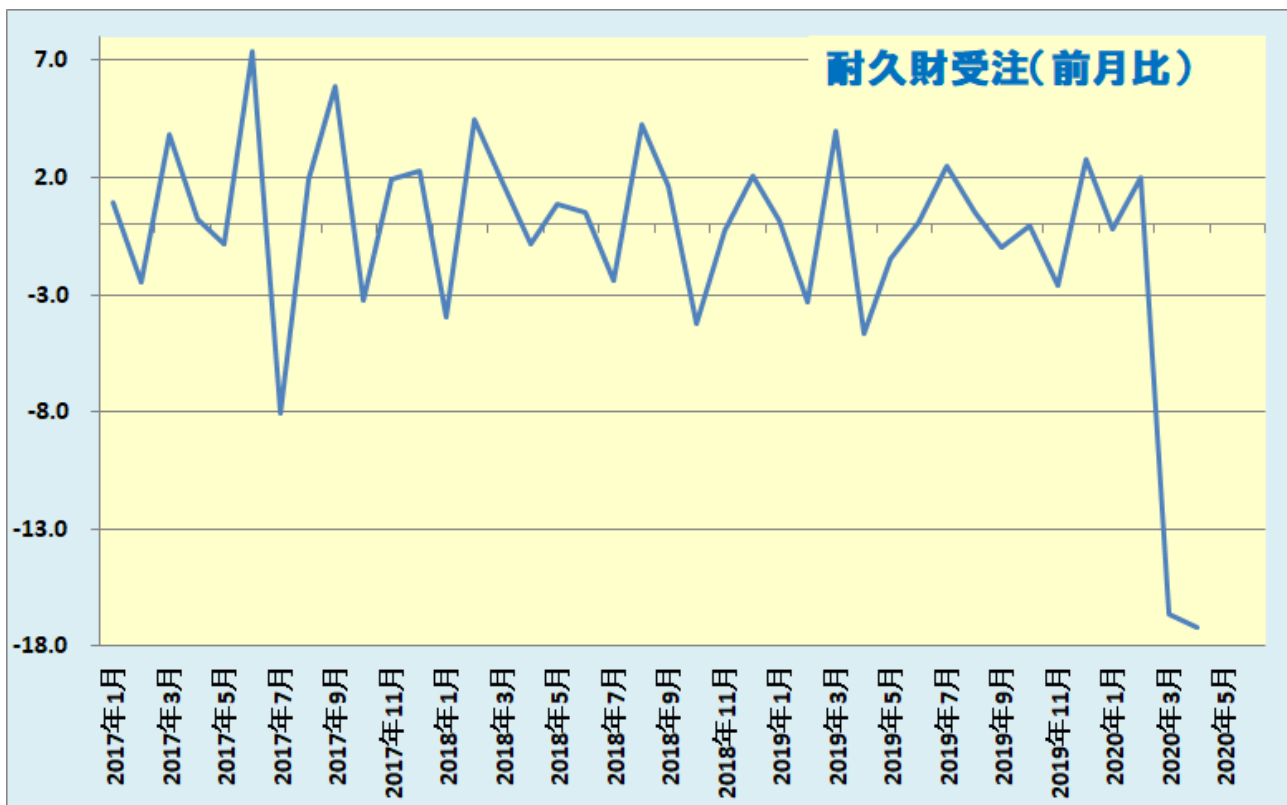
データを基に SBILM が作成

4月耐久財受注（前月比） -17.2%（予想 -19.8%・前回 -14.7%⇒-16.6%）

4月耐久財受注〔除輸送用機器〕 -7.4%（予想 -15.0%・前回 -0.4%⇒-1.7%）

4月の米耐久財受注は、市場予想を下回る結果となったものの、前月からマイナス幅は拡大した。輸送機器が47.3%（前月-43.1%）となり、国防関連の航空機が-32.7%、自動車・同部品が-52.8%、と大幅なマイナスとなったことが影響した。輸送機器を除いた受注は-7.4%となった。資本財は-1.8%

（-29.6%）となり、資本財から国防関連を除いた受注は+8.2%、コア受注は-5.8%、国防関連は-30.8%だった。

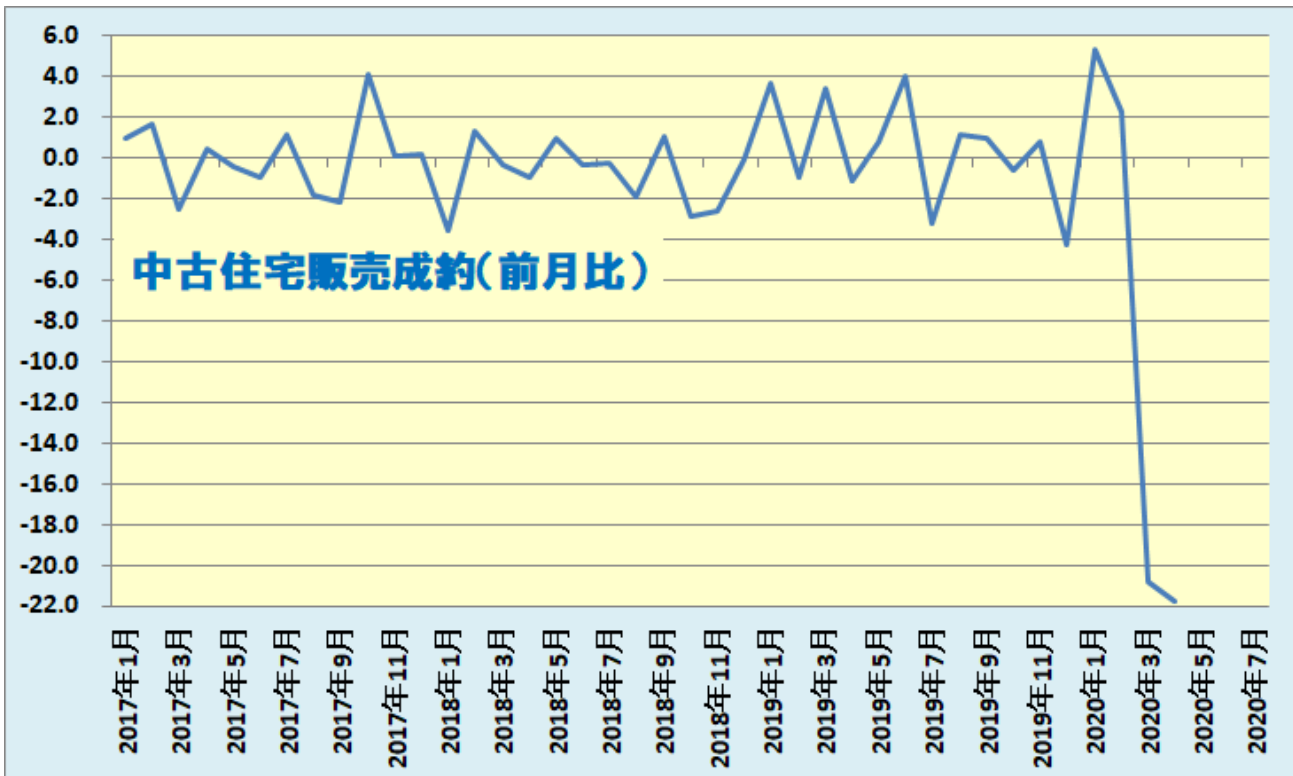


データを基に SBILM が作成

4月中古住宅販売成約（前月比） -21.8%（予想 -15.0%・前回 -20.8%）

4月中古住宅販売成約（前年比） -34.6%（予想 -28.7%・前回 -14.5%）

4月の米中古住宅販売成約は、市場予想大幅に下回り、2010年5月以来の大きなマイナスとなった。地域別では、北東部が-48.2%（前月-20.8%）、中西部が-15.9%（-22.0%）、南部が-15.4%（-19.6%）、西部が-20.0%（-26.8%）。



データを基に SBILM が作成

米主要株価指数は終盤に下落に転じて反落

米株式市場では、経済活動の再開で景気回復に向かうとの期待感を背景に、主要株価指数は序盤から堅調な動きとなった。しかし、終盤にトランプ米大統領が29日に対中政策に関する記者会見を開くとの報道が伝わると、米中の対立激化への懸念が高まり、主要株価指数は軒並み下落に転じて反落となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比210ドル高まで上昇した。終盤には下落に転じ、189ドル安まで下落する場面もあり、147ドル安(-0.58%)で終了した。一方、ハイテク株中心のナスダックは、43ポイント安(-0.46%)で終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	石油・ガス	-3.02%	1	ゴールドマン・サックスG	-4.03%
2	素材	-2.79%	2	ウォルトディズニー	-3.93%
3	金融	-1.53%	3	シェブロン	-3.23%
4	消費者サービス	-0.82%	4	アメリカンエキスプレス	-3.13%
5	テクノロジー	-0.48%	5	インテル	-2.93%

データを基に SBILM が作成

ドル/円・クロス円は終盤に失速

NY市場では、世界的に経済活動の再開が進んでいることから、景気回復の向かうとの期待感を背景に、アジアや欧州、米国の主要株価指数が上昇しており、投資家のリスク志向も改善し、安全資産とされるドルや円が売られた。ドル/円は、米国債利回りの上昇もあり、序盤は108.82まで上昇した。ただ、その後は米国債利回りが低下したことや、ユーロやポンドなどに対してドルの下げ幅が拡大したこともあり、ドルは対円でも上値の重い動きとなり、一時107.57まで下落した。一方、ユーロは欧州委員会が提案した復興基金案が引き続き押し上げ要因となり、対ドルで3/30以来、対円で3/31以来の高値を付けた。終盤には、トランプ米大統領が29日に対中政策に関する会見を実施するとの報道を受けて、米中対立激化への懸念が高まり、上昇していた米主要株価指数が軒並みマイナス圏まで下落したことに加え、米国債利回りの低下したことから、ドル円・クロス円は一段の下落となった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様自身でお願いします。